

平成28年度
(2016年度)

事業報告書

及び

計算書類・財産目録

社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会

目 次

平成28年度

1. 事業報告書	・・・	1
2. 計算関係書類		
(1) 法人全体		
・資金収支計算書	・・・	57
・事業活動計算書	・・・	59
・貸借対照表	・・・	61
・計算書類に対する注記	・・・	62
(2) 社会福祉事業		
・社会福祉事業区分 資金収支内訳表	・・・	65
・社会福祉事業区分 事業活動内訳表	・・・	67
・社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表	・・・	69
(3) 拠点区分計		
・社協事業拠点区分 資金収支計算書	・・・	70
・社協事業拠点区分 資金収支明細書	・・・	76
・社協事業拠点区分 事業活動計算書	・・・	82
・社協事業拠点区分 事業活動明細書	・・・	88
・社協事業拠点区分 貸借対照表	・・・	93
・計算書類に対する注記	・・・	94
・高齢者事業拠点区分 資金収支計算書	・・・	96
・高齢者事業拠点区分 資金収支明細書	・・・	102
・高齢者事業拠点区分 事業活動計算書	・・・	108
・高齢者事業拠点区分 事業活動明細書	・・・	114
・高齢者事業拠点区分 貸借対照表	・・・	119
・計算書類に対する注記	・・・	120
・障がい者事業拠点区分 資金収支計算書	・・・	122
・障がい者事業拠点区分 資金収支明細書	・・・	128
・障がい者事業拠点区分 事業活動計算書	・・・	134
・障がい者事業拠点区分 事業活動明細書	・・・	140
・障がい者事業拠点区分 貸借対照表	・・・	145
・計算書類に対する注記	・・・	146
3. 財産目録	・・・	148

平成28年度 大阪狭山市社会福祉協議会事業報告書

1. 会議及び研修等

【1】理事会

第1回理事会 平成28年5月18日（水）

1. 議事録署名人について
2. 平成27年度事業報告及び財務諸表並びに監査報告について
3. 顧問の委嘱について
4. 評議員の選任について
5. 定款の一部を改正する定款について

第2回理事会 平成28年5月26日（木）

1. 議事録署名人について
2. 会長・副会長の選任について
3. 顧問の委嘱について
4. 各種委員会委員の承認について

第3回理事会 平成28年12月19日（月）

1. 議事録署名人について
2. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会定款の変更について
3. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について
4. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会評議員の選任に関する規程の制定について
5. 評議員選任・解任委員の選任について

第4回理事会 平成29年3月22日（水）

1. 議事録署名人について
2. 副会長の選任について
3. 経理規程の制定について
4. 定款の一部を改正する定款について
5. 定款細則の一部を改正する細則について
6. 平成29年度事業計画及び予算書について
7. 評議員選任候補者の推薦について
8. 評議員選任・解任委員会の開催について
9. 理事・監事選任規程の制定について
10. 処務規程の一部を改正する規程について
11. 職員給与規程の一部を改正する規程について
12. 再雇用に関する規則の一部を改正する規則について

【2】評議員会

第1回評議員会 平成28年5月21日（土）

1. 議事録署名人について
2. 平成27年度事業報告及び財務諸表並びに監査報告について
3. 理事・監事の選任について
4. 定款の一部を改正する定款について

第2回評議員会 平成28年12月23日（祝）

1. 議事録署名人について
2. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会定款の変更について
3. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規程の制定について
4. 社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会評議員の選任に関する規程の制定について
5. 補欠理事の選任について

第3回評議員会 平成29年3月25日（土）

1. 議事録署名人について
2. 経理規程の制定について
3. 定款の一部を改正する定款について
4. 定款細則の一部を改正する細則について
5. 処務規程の一部を改正する規程について
6. 平成29年度事業計画及び予算書について
7. 理事・監事選任規程の制定について
8. 職員給与規程の一部を改正する規程について
9. 再雇用に関する規則の一部を改正する規則について

【3】評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会 平成29年3月23日（木）

1. 評議員の選任について

【4】監査

(1) 平成27年度監査

実施日：平成28年5月12日（木）

(2) 平成28年度中間監査（上半期分）

実施日：平成28年11月24日（木）

【5】諸会議

- (1) 評議員選考委員会
- (2) 地区福祉委員会委員長連絡会
- (3) 善意銀行運営委員会
- (4) 広報委員会

【6】大阪府社協並びにブロック会議参加

- (1) 市町村社協連合会
 - 役員会、理事会、代表者・事務局長合同会議
 - 大阪府社協ボランティアファンド運営委員会
 - 大阪府住宅まちづくり審議会
- (2) 河南ブロック社協連絡会
- (3) 大阪府市町村社協職員共済会

【7】研修会

- (1) 心配ごと相談員研修会
 - 実施日：平成29年3月9日（木）
 - 場所：福祉センター さつき荘 スポーツ室
 - 内容：相談員が持つべき視点、聴き方の技術について
 - 講師：ボランティアグループ 傾聴さやま
 - 参加者：28人

2. 事業

【1】大阪狭山市地域福祉活動計画の具現化

「大阪狭山市地域福祉活動計画」に基づき、市と合同で地域住民懇談会（ご近所福祉サミット）を開催し、地区福祉委員会の地域福祉活動実施計画の策定支援を行った。

- (1) 地域住民懇談会（ご近所福祉サミット）
 - 実施日：平成29年2月4日（土）
 - 場所：大阪狭山市役所 第1・第2会議室
 - 対象地域：市立狭山中学校区
(東地区・西池地区・狭山地区福祉委員会活動区域)
 - 内容：
 - ・「第3次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画」の概要について
 - ・小地域の福祉活動と増進型地域福祉について
 - ・グループワーク（意見交換）
 - ・意見の全体共有
 - ・まとめ
 - 講師：大阪府立大学教育福祉学類人間社会学研究科教授
小野達也氏
 - 参加者：38人

(2) 地区福祉委員会の地域福祉活動計画策定支援

○半田地区福祉委員会

<第1回>

実施日：平成28年6月7日（火）

場 所：川向公民館

内 容：・平成27年11月7日に開催した地域住民懇談会より抽出した地域で気になる事柄についての具体的な事業計画について

参加者：16人

<第2回>

実施日：平成28年8月17日（水）

場 所：川向公民館

内 容：・世代間交流事業（文化祭、運動会等）と市内の社会資源を探る研修会の事業計画について

参加者：18人

○茱萸木地区福祉委員会

<第1回>

実施日：平成28年10月27日（木）

場 所：茱萸木中央公民館

内 容：・今後の地区福祉委員会での進め方
・地域の課題の抽出について

参加者：13人

<第2回>

実施日：平成29年1月18日（水）

場 所：茱萸木中央公民館

内 容：・地域の課題の絞り込みについて

参加者：12人

○西地区福祉委員会

<第1回>

実施日：平成28年4月20日（水）

場 所：池之原会館

内 容：・地域福祉活動実施計画の経過報告
・今後の地区福祉委員会での進め方
・地域の課題の抽出と絞り込み

参加者：20人

<第2回>

実施日：平成28年5月19日（木）

場 所：池之原会館

内 容：・地区福祉委員会として考えたい事項の絞り込み
・考えたい事項に対して、理想の活動や場面を描く

講 師：大阪府立大学教育福祉学類人間社会学研究科教授
小野達也 氏

参加者：14人

<第3回>

実施日：平成28年9月9日（金）

場 所：池之原会館

内 容：・グループワーク（事業内容について）

参加者：19人

<第4回>

実施日：平成28年11月29日（火）

場 所：池之原会館

内 容：・事業実施に向けての今後について

参加者：15人

<第5回>

実施日：平成29年1月26日（木）

場 所：池之原会館

内 容：・ワーキンググループのメンバーについて

参加者：15人

【2】地区福祉委員会活動への支援

社会福祉協議会の内部組織として位置づけられる、9つの地区福祉委員会に地域の特性にあわせた地区福祉委員会活動に対する支援を行った。

- (1) 地区福祉委員会の指導育成
- (2) 地区福祉委員会の活動助成
- (3) 地域福祉活動実施計画に基づく活動支援
- (4) ふれあい広場の開催支援
- (5) お笑い鑑賞会（特選上方演芸会）の開催支援
- (6) 小地域ネットワーク活動実践交流会の実施
- (7) 小地域ネットワーク活動新任研修会の実施

【3】小地域ネットワーク推進事業

地域のねたきり、ひとり暮らし高齢者や障がい者など、地域での支援を必要としている人に対し、見守り活動などの個別支援やサロン活動などのグループ援助活動等、さまざまな形で支援活動を行った。

今年度は、活動の事例紹介、地域の取り組み状況等についての意見交換の場として実践交流会を開催した。

(1) 見守り訪問活動

各地区福祉委員会が中心となって、おおむね65歳以上のひとり暮らしの人や、ねたきりの人などの要援護者に対し、見守り・声かけ活動、話し相手、簡単な用事の手伝い等、日常生活の中でできる範囲の訪問活動を行った。

地区名	支部名	ボランティア登録数	ひとり暮らし		ねたきり		その他		合計	
			対象者	延訪問数	対象者	延訪問数	対象者	延訪問数	対象者	延訪問数
狭山地区	狭山コーポ	8人	27人	2,054回	0人	0回	0人	0回	27人	2,054回
半田地区	金剛1丁目	15人	7人	338回	0人	0回	0人	0回	7人	338回
	川向	23人	11人	1,312回	1人	30回	2人	163回	14人	1,505回
茱萸木地区	茱萸木	33人	10人	157回	0人	0回	20人	422回	30人	579回
南第一地区	ニュータウン	35人	110人	1,320回	0人	0回	28人	336回	138人	1,656回
南第二地区	大野台1丁目	21人	5人	210回	0人	0回	1人	127回	6人	337回
	大野台3丁目	18人	17人	1,648回	0人	0回	0人	0回	17人	1,648回
	大野台4丁目	17人	34人	744回	0人	0回	0人	0回	34人	744回
	大野台5/6丁目	27人	35人	1,572回	0人	0回	2人	96回	37人	1,668回
	大野台7丁目	15人	2人	112回	0人	0回	0人	0回	2人	112回
	大野台7丁目北	5人	5人	502回	0人	0回	0人	0回	5人	502回
合計	5地区11支部	217人	263人	9,969回	1人	30回	53人	1,144回	317人	11,143回
	(前年度) 5地区11支部	227人	278人	8,826回	1人	60回	61人	1,077回	340人	9,963回

(2) 食事サービス

各地区福祉委員会が中心となって、おおむね65歳以上のひとり暮らしの人やねたきりの人及び70歳以上の高齢者のみの世帯、重度の心身障がい者世帯に対し、配食や会食会を通して地域住民との交流と食生活の維持向上を支援した。

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
配食	西地区	岩室	H22/4	45人	1回	24食
		北野田グリーンハイツ	H21/7	9人	36回	261食
		緑ヶ丘	H26/10	2人	48回	95食
	小計①	1地区3支部		56人	85回	380食
	(前年度)	2地区4支部		74人	120回	950食

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数	
会 食	東地区	東野大鳥池	H25/5	24人	24回	395食	
	狭山地区	狭山コーポ	H8/7	25人	24回	554食	
		狭山中	H23/5	46人	6回	160食	
		遊園ハイツ	H25/6	34人	6回	117食	
	西池地区	自由丘	H10/9	25人	12回	239食	
		池尻	H13/2	45人	12回	309食	
	西地区	緑ヶ丘	H26/10	7人	4回	20食	
	半田地区	南海金剛住宅	H12/6	40人	11回	193食	
		金剛1丁目	H11/12	32人	24回	437食	
		川向	H14/4	56人	6回	176食	
	茱萸木地区	茱萸木	H12/3	22人	11回	156食	
		スカイハイツ	H24/5	22人	9回	148食	
	南第一地区	ニュータウン	H12/6	63人	11回	499食	
		府営北	H11/11	57人	12回	459食	
	南第二地区	大野台1丁目	H28/5	27人	5回	70食	
		大野台3丁目	H28/4	39人	12回	173食	
		大野台4丁目	H9/10	39人	11回	372食	
		大野台5/6丁目	H15/3	30人	6回	143食	
		大野台7丁目	H15/1	18人	26回	341食	
	南第三地区	府営南	H11/12	42人	12回	425食	
		公団	H11/12	33人	12回	297食	
		小計②	9地区21支部		726人	256回	5,683食
		(前年度)	9地区19支部		672人	233回	5,401食
	合計(①+②)	9地区23支部		782人	341回	6,063食	
	(前年度)	9地区22支部		746人	353回	6,351食	

(3) サロン活動

各地区福祉委員会が中心となって、高齢者や障がい者、子育て中の世帯などが、地域での孤立を防ぎ、コミュニケーションを築くために、地区集会所など身近な場所で地域住民やボランティアと協働で交流できる場を提供した。

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主 な 内 容
東地区	東野	22回	694人	165人	喫茶、歌、ゲーム、学習会、いきいき百歳体操、遠足、水遊び、ハロウィン
	東池尻	33回	1,313人	239人	説明会、学習会、茶話会、新聞遊び、七夕制作、運動会
	東野 大鳥池	27回	466人	43人	花見、ラジオ体操、なつかしの歌合唱、干支ぬの絵
狭山地区	狭山 コーポ	12回	162人	118人	茶話会、誕生会、レクリエーション（ゲーム等）
	狭山中	12回	257人	69人	茶話会、誕生会、コースター作り、ゲーム、折り紙
	狭山西	18回	324人	44人	誕生会、茶話会、みんなで歌を歌う、プール、クリスマス、交流会
	遊園 ハイツ	14回	241人	101人	茶話会、カラオケ、健康体操、手芸、敬老会、忘年会
	レクハイツ	20回	293人	60人	茶話会、クリスマス会、みんなで歌おう会、水中花づくり、コーヒーサロン
西池地区	自由丘	12回	239人	135人	サックス&キーボード、フラダンス、落語鑑賞
	池尻	12回	309人	198人	紙芝居、ストレッチ体操、みんなで歌おう、誕生会
西地区	岩室	6回	108人	21人	親睦会、クリスマス会、防災訓練、お抹茶席、研修会
	山伏	12回	119人	20人	カラオケ
	北野田 グリーンハイツ	17回	98人	17人	茶話会、誕生会、ぼた餅づくり、クリスマス会
	口大野	6回	113人	24人	茶話会、カラオケ、会食（参加者実費で弁当注文）
	緑ヶ丘	6回	63人	34人	スクリーンコンサート（ピアノ伴奏でみんなで歌う音楽療法）
半田地区	南海金剛 住宅	25回	1,084人	223人	悠遊クラブ（カラオケ・各種ゲーム）、男性専科・モーニング喫茶『男厨』
	金剛 1丁目	37回	653人	141人	コーヒーサロン、卓球、勉強会、そば打ち勉強会
	半田東村	153回	1,710人	213人	子育て支援、コーヒーサロン、グランドゴルフ、カラオケ、手芸
	川向	30回	626人	113人	グランドゴルフ、茶話会、朝市、カラオケ、地域美化清掃

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主 な 内 容
半田地区	前田	20回	172人	57人	健康体操
	半田北村	12回	137人	36人	カラオケ
	浦之庄	91回	1,344人	273人	グランドゴルフ、茶話会、朝市、カラオケ、地域美化清掃
	ライオンズ マンション金剛	12回	170人	57人	茶話会、クリスマス会、歌
茱萸木地区	茱萸木	11回	156人	134人	指運動、民謡、七夕飾り、詩吟、太極拳、クリスマス会、音楽会
	カイト	9回	148人	59人	ハーモニカ、コーラス、体操、ことばあそび、カード合わせ
南第一地区	ニュータウン	24回	1,249人	257人	早朝喫茶、茶話会、歌声サロン、折り紙、防犯教室、歌声の集い
	桜ヶ丘	6回	96人	41人	うたごえ喫茶、盆踊り練習、認知症サポーター講座、健康体操、茶話会
	ガーデンハイム	6回	156人	48人	ランチカフェ、介護保険勉強会、クリスマス会、ひな祭り
	府営北	12回	459人	234人	手指運動、いきいき百歳体操、民謡、認知症の話、防犯・防災教室、新春の集い
南第二地区	大野台 1丁目	24回	363人	249人	パターゴルフ、会食、ふれあい歩こう会、麻雀大会、お茶会
	大野台 3丁目	25回	520人	268人	懇談会、茶話会、落語、アロマポット作り、舞踊体操
	大野台 4丁目	53回	955人	203人	囲碁、麻雀、パソコン、写真、もちつき、卓球、折り紙
	大野台 5/6丁目	14回	524人	180人	民謡を楽しむ会、茶話会、演奏会、健康体操、ふれあいカフェ、新年会
	大野台 7丁目	25回	403人	20人	親睦会、交流会、ニューイヤーコンサート、体操教室、銀行協会出張講座
	大野台 7丁目北	3回	36人	9人	昼食会、敬老の日お祝いの集い、ゲーム
	大野	24回	653人	126人	茶話会、親子の会、クリスマス会、グランドゴルフ、ゲートボール、カラオケ
南第三地区	府営南	12回	425人	151人	合唱、南京玉すだれ、紙芝居、折り紙、ビンゴゲーム
	公団	12回	323人	187人	腹話術、手話コーラス、七夕祭り、クリスマス会、カメのストラップ作り
計 9地区38支部		869回	17,161人	4,567人	
(前年度)9地区38支部		878回	17,638人	4,988人	

(4) グループ援助活動支援

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動(ふれあい会食サービス、サロン活動)を安心して行ってもらえるよう行事保険に加入した。

地区名	支 部 名	回数 (回)	人数 (人)	地区名	支 部 名	回数 (回)	数 (人)
東地区	東野	20	600	半田地区	北村	5	100
	東池尻	33	1,715		前田	20	400
	東野大鳥池	27	575		浦之庄	89	1,780
狭山地区	狭山コーポ	24	600	茱萸木地区	茱萸木	11	330
	狭山中	1	30		スカイハイツ	9	187
	狭山西	22	749	南第一地区	ニュータウン	23	1,500
	レークハイツ	16	320		桜ヶ丘	6	146
	遊園ハイツ	14	280		ガーデンハイム	6	240
西池地区	自由丘	30	732	南第二地区	府営北	12	630
	池尻	12	600		大野台1丁目	20	615
西地区	岩室	3	60	南第二地区	大野台3丁目	9	450
	山伏	1	20		大野台4丁目	64	1,512
	北野田グリーンハイツ	17	340		大野台5/6丁目	10	310
	口大野	6	120		大野台7丁目	60	1,225
	緑ヶ丘	6	120		大野台7丁目北	1	20
	半田地区	金剛1丁目	36		720	南第三地区	府営南
半田東村	12	492	公団	11	460		
	川向	5	155	計 9地区35支部		653	18,718

※(前年度) 9地区34支部 622回17,952人

(5) ボランティア活動支援

小地域ネットワーク活動に携わるボランティアに対し、ボランティア保険に加入した。

(単位：人)

地 区 名	支 部 名	ボランティア数	地 区 名	支 部 名	ボランティア数
東地区	東野	20	半田地区	北村	9
	東池尻	30		浦之庄	5
	東野大鳥池	9		ライオンマンション金剛	10
狭山地区	狭山コーポ	14	茱萸木地区	茱萸木	34
	狭山中	5		スカイハイツ	7
	狭山西	6	南第一地区	ニュータウン	35

狭山地区	遊園ハイツ	8	南第一地区	桜ヶ丘	11
	レークハイツ	33		ガーデンハイム	12
西池地区	自由丘	11	南第二地区	府営北	26
	池尻	18		大野台1丁目	21
西地区	岩室	6	大野台3丁目	40	
	山伏	7	大野台4丁目	20	
	北野田グリーンハイツ	2	大野台5・6丁目	27	
	口大野	18	大野台7丁目	15	
	緑ヶ丘	8	大野台7丁目北	5	
半田地区	南海金剛住宅	39	南第三地区	大野	15
	金剛1丁目	19		府営南	12
	半田東村	14	公団	27	
	川向	50	計 9地区38支部		654
	前田	6	※(前年度) 9地区38支部 671人		

(6) 目くばり気くばり思いやり運動

ひとり暮らし、ねたきり高齢者を対象に、老人クラブのメンバーによる友愛訪問として声かけ等の安否確認を行った。

対象者数：ひとり暮らし、ねたきり高齢者 281人
※(前年度) 302人

友愛訪問者数：18単位老人クラブ 158人
※(前年度) 19単位老人クラブ 143人

(単位：回)

項目	声かけ	不在	話し相手	軽微な要件	計
ひとり暮らしの人	8,076	799	3,412	437	12,724
ねたきりの人	12	0	0	0	12
計	8,088	799	3,412	437	12,736
(前年度)	8,711	815	3,792	452	13,830

【4】 権利擁護センター事業(日常生活自立支援事業)

認知症・知的障がい・精神障がい等により、判断能力にハンディキャップのある人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うことにより、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

対 象 区 分	認知症 高齢者	知的 障がい者	精 神 障がい者	その他	計
利 用 者 数(人)	6 (6)	9 (9)	15 (13)	0 (0)	30 (28)
新規契約件数(件)	0 (5)	1 (2)	4 (5)	0 (0)	5 (12)
終 了 件 数(件)	0 (1)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	3 (2)
相談援助件数(件)	187 (213)	545 (553)	1,132 (1,234)	32 (4)	1,896 (2,004)
利用者活動件数(件)	103 (78)	153 (146)	403 (406)	0 (0)	659 (630)
契約前活動件数(件)	3 (24)	11 (8)	16 (46)	7 (0)	37 (78)

※()内は前年度実績

【5】ヒューマン・ケア事業

日常生活上、家事等に支障をきたす高齢者や障がい者(児)、父子、母子世帯等に有料で協力会員を派遣し、在宅福祉の向上を図った。

利用会員登録者数： 32人（平成29年3月31日現在）※(前年度 42人)
 協力会員登録者数： 19人（ ” ” ）※(前年度 22人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
派遣回数(回)	29	32	37	35	30	30
派遣時間(時間)	42.5	40	53	55	43	36.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
派遣回数(回)	37	30	35	29	26	24	374	341
派遣時間(時間)	49	37	49	34.5	29.5	30	499	416.5

【6】福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、福祉教育・学習機会の提供と、体験交流活動を推進した。また、福祉の心を育む機会を拡充するとともに、学童・生徒を通じて家庭及び地域社会に福祉に関する啓発を図った。

指 定 校	主 な 事 業 内 容
北小学校	1. 緑の羽根募金活動 2. 学校美化活動 3. 栽培緑化活動 4. 高齢者や幼児との地域交流活動 5. あいさつ運動 6. ゴーヤの栽培(4年) 7. 田植え(5年) 8. 見守り活動の皆さんへ感謝の会 9. 認知症安心声かけ訓練 10. 夏休み親子美化清掃 11. 夏休み作品展 12. 自然体験活動(2年) 13. 稲刈り(5年) 14. 北カーニバル 15. 地域清掃活動 16. 赤い羽根共同募金活動 17. 手話体験 18. 点字体験 19. 奉仕清掃作業(6年) 20. 昔の暮らし学習【高齢者の方との交流(1年)】 21. 車いす・アイマスク体験(5年) 22. 幼児との交流活動 23. 環境教育 24. 班会議・集団下校 25. 災害時引き渡し訓練
東小学校	1. あいさつ運動 2. 支援学級との交流 3. 米作り学習 4. 花いっぱい運動 5. 幼稚園との交流 6. 手話学習 7. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 8. 点字学習 9. あいさつ運動 10. 校内環境整備 11. 地域の高齢者との昔遊び交流・自然観察 12. 障がい児との交流 13. 校内美化活動
西小学校	1. 市内小・中学校支援学級との交流会 2. 緑の羽根募金活動 3. 環境美化活動 4. 地域の高齢者と給食会(1年) 5. 認知症サポーター養成講座 6. 西幼稚園との交流 7. 赤い羽根共同募金活動 8. さんとまつり(ふれあい講座) 9. 福祉活動(車いす・アイマスク体験) 10. 夏休み作品展 11. 幼少交流会 12. 地域の高齢者や園児を運動会に招待
南第一 小学校	1. 緑の羽根募金活動 2. 環境学習 3. 環境整備活動 4. 南中学校区わくわくフェスタに参加 5. 運動会に地域の高齢者の方を招待 6. 南中学校区3小学校6年生交流会 7. 支援学級交流遠足 8. 校内環境整備活動(6年生) 9. 栽培活動 10. 赤い羽根共同募金活動 11. 一小ふれあいまつりに地域の高齢者を招待 12. アイマスク・車いす体験(4年) 13. 手話・点字学習 14. 国際交流 15. 認知症安心声かけ訓練(6年) 16. 連合運動会に参加 17. 支援学級との交流 18. 地域の見守り隊の方との給食交流会 19. 地域の高齢者との地域清掃 20. 異学年交流(清掃・給食の片付け手伝い) 21. 作品展に地域の方を招待 22. 高齢者からの聞き取り(3年生)
南第二 小学校	1. 幼稚園・保育所と交流(1・2年) 2. 緑の羽根募金活動 3. 赤い羽根共同募金活動 4. 幼稚園保育園交流 5. クラブ活動(4・5・6年) 6. 手話学習(3年) 7. 夏休み作品展(地域の高齢者の作品を展示) 8. 地域の方の出前講座(土曜参観) 9. 地域の方と学校周辺の清掃活動 10. 車いす体験(5年) 11. 運動会・音楽会に地域の高齢者の方を招待 12. 運動会に幼稚園児の参加競技を設置 13. グリーンカーテン運動 14. 地域ギャラリー(押し花・写真・切り絵等の設置) 15. 音楽会 16. 田植え体験学習(5年) 17. 特別養護老人ホームとの交流(4年) 18. 大野のぶどうづくり(3年) 19. 夏季環境整備 20. 南中「わくわくフェスティバル」に参加 21. 見守り活動の方を給食招待 22. 点字教室(4年)
南第三 小学校	1. 緑の募金活動 2. なかよし交流 3. 障がい者理解教育 4. 花の植え替え 5. こども園との交流(プール交流) 6. 学校周り清掃活動(PTA、地域) 7. 点字、アイマスク体験 8. 学校美化活動 9. フラワープロジェクト 10. 陶器山の自然観察 11. 三小フレンドパーク 12. 縄跳び交流(全学年) 13. 卒業生奉仕作業 14. JRC(大阪青少年赤十字活動)への参加 15. 異学年交流(5・6年による1年への清掃・給食の指導と手伝い) 16. 地域高齢者との交流(運動会招待、特別養護老人ホームとの訪問交流会) 17. 三小ふれあい広場 18. 緊急下校の引き渡し共同訓練 19. 地域見守り隊との給食交流会 20. 支援学級と通常学級との交流 21. 手話、手話コーラス、点字の学習、盲導犬の学習 22. 認知症サポーター養成講座(5年) 23. 赤い羽根の共同募金(児童会) 24. 環境学習 25. 古紙、プルトップ、インクカートリッジのリサイクル活動
第七小学校	1. PTAと共同でアルミ缶回収作業 2. 近隣幼稚園・保育所と交流 3. 地域の高齢者を講師に招き学習会 4. 緑の羽根募金活動 5. 幼稚園児とプール交流 6. 環境整備・美化活動 7. 学校、地域の農園で収穫体験 8. 運動会への招待(地域の高齢者や幼稚園・保育所児) 9. こころに感じる講演会 10. 点字学習 11. 車いす・アイマスク体験 12. 赤い羽根共同募金活動 13. サンネットフェスタ 14. 他校の支援学級との交流 15. 地域清掃 16. 「みどりがいっぱい」活動(一鉢運動・畑で栽培活動・緑のカーテン) 17. 幼稚園児・保育園児体験入学 18. 田植え体験 19. ふれあいひろば(バザー・リユース活動) 20. もちつき大会 21. 稲刈り大会、いも掘り体験

指 定 校	主 な 事 業 内 容
南中学校	1. 緑の羽根募金活動 2. 狭山池まつりへの吹奏楽部の出演 3. 市内3中学校支援学級交流遠足 4. 校区内地域清掃 5. 障がい者理解(車いす体験) 6. 手話体験 7. 点字体験 8. 全校平和集会 9. 命の授業(2年) 10. わくわくフェスティバル 11. 人権学習【部落問題・外国人・国際理解・平和】 12. けが防止のためのストレッチ講習会 13. 赤い羽根共同募金活動 14. 地域ウォーキング大会での吹奏楽部出前演奏 15. 地域人材の方から部活動で技術指導 16. キャリア学習(職業講和・職業体験学習)
狭山中学校	1. 緑の羽根募金活動 2. 平和学習 3. 総合学習発表会・体育大会への高齢者・幼稚園児招待 4. 狭山池まつりでの募金活動ボランティア 5. 赤い羽根共同募金活動 6. 障がい者理解教育 7. 校区・地域での清掃活動 8. 幼稚園・保育所との交流会(ボランティア体験) 9. ペットボトルキャップ・プルトップの回収 10. あいさつ運動 11. 雪国体験学習で現地環境学習
第三中学校	1. あいさつ運動 2. 緑の羽根募金活動 3. 市内小中学校支援学級交流遠足 4. 障がい者理解学習 5. 環境問題学習(1年) 6. 支援学級と地域ボランティアとの菜園活動 7. 体育大会など学校行事へ高齢者・園児・児童の招待 8. 職場体験(2年) 9. 赤い羽根共同募金活動 10. サンネットフェスタへの参画 11. 進路学習・職業の聞き取り 12. 他校の支援学級、高等支援学校との交流 13. 各種福祉事業への参加 14. 校内美化清掃活動 15. 安全安心スクールの実施 16. 三中池清掃 17. 福祉施設利用者との交流
狭山高等学校	1. あいさつ運動 2. 子育て支援センター“ぼっぼえん”との交流 3. PTAによる植栽 4. クリーンアクションへの参加 5. 障がい者理解(車いす体験)授業 6. 高齢者理解授業 7. 市内幼稚園・小学校との交流 8. 「さやま元気っこクラブ」の学生ボランティア 9. 文化祭で献血活動 10. 文化祭へ地域の方を招待 11. 狭山池まつりの龍神舞台の企画運営 12. 体育大会での幼稚園児招待 13. 赤い羽根共同募金活動 14. 産業まつりへの参加 15. 特別養護老人ホーム訪問 16. チャリティコンサート募金協力 17. 人権学習 18. 南第一地区福祉委員会ふれあい広場への参加 19. 熊本地震義援金募金活動 20. 地域清掃 21. 社会教育センター・図書館主催イベントに参加(吹奏楽部)

※(前年度) 7小学校、3中学校、1高等学校

【7】ひとり暮らし老人会食会

ひとり暮らし高齢者の閉じこもり等を防ぎ、生活に変化をもたせるとともに、健康増進と食生活の改善、向上を図った。

実施日：月2回（第1班…概ね第1火曜日、第2班…概ね第3火曜日）

実施回数：23回（各班11回、合同会食会1回）

対象者：市内に身寄りのない65歳以上のひとり暮らしの人

登録者数：49名（平成29年3月31日現在）

食数：延べ618食

※(前年度) 年23回実施 登録者48名 延べ611食

【8】救急医療情報キット配布事業

ひとり暮らし高齢者や障がい者等の自宅での不慮の事故など、緊急時に迅速な救命活動に資するため「大阪狭山救急医療情報キット」を製作・配布し、高齢者や障がい者等の安心と安全の確保に努めた。

(単位：個)

配布対象者	昨年度までの配布数	今年度配布数	延べ配布数
65歳以上のひとり暮らしの世帯	1,342	76	1,418
65歳以上の高齢者だけの世帯	141	15	156
日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯	35	3	38
日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯	18	7	25
障がい者手帳を保持している人	52	4	56
特定疾患医療受給者証を保持している人	12	1	13
計	1,600	106	1,706

【9】お笑い鑑賞会（特選上方演芸会）

各地区福祉委員会の交流事業として、市内9つの地区福祉委員会が合同で市内の60歳以上の人を対象に”笑いは健康のもと”である点に注目して開催した「お笑い鑑賞会（特選上方演芸会）」を支援した。

実施日：平成29年3月5日（日）

場所：SAYAKAホール 大ホール

内容：「お笑い鑑賞会（特選上方演芸会）」

出演者：平和勝次、ゼンジー北京、桂 小春団治、シンデレラエキスプレス、菊地まどか、露の紫

参加者：726名（スタッフ含む）

【10】子育てほっとサロン「さつき」

子どもと遊びながら、おもちゃやレクリエーションを通して子育てを楽しみ、子育て中の方同士がおしゃべりをしたり、仲間の輪を広げる場となる「子育てサロン」を地域での実施に繋げるため、モデル的に実施した。

実施日：月2回（第1・3水曜日 午前10時～正午）

※はばたきフェスタ期間中（11月6日）臨時に開設

場所：さつき荘「ワーキング室」

対象者：0歳から未就学児とその保護者

参加者数：延べ183組385名

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
参加組数(組)	11	13	13	15	9	11
参加者数(人)	25	27	27	32	19	23

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
参加組数(組)	25	25	18	7	18	18	183	144
参加者数(人)	52	49	39	13	39	40	385	314

【11】ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談や情報提供、登録・仲介・連絡調整を行うとともに、ボランティアの人材育成や活動を支援し、ボランティア活動の推進を図った。

(1) 登録者数

33グループ 437人（平成29年3月31日現在）

個人登録 9人（ ” ” ）

※(前年度) 37グループ 409人 個人登録 7人

(2) 啓発宣伝

おおさかさやまボランティアだよりの発行（年3回発行・全戸配布）

第87号：6月1日、第88号：10月1日、第89号：2月1日

※(前年度) 3回発行

(3) 会 議

①ボランティアグループ連絡会 定例会（毎月第3金曜日）

②ボランティアグループ連絡会 役員会

(4) 需給調整

①相談受付内容別件数

(単位：件)

内 容	相 談 先		ボランティア グループ	団 体 その他
	件 数	個 人		
活動希望	3	3	0	0
派遣依頼	101	0	0	101
会場・機材の貸し出し	50	0	33	17
情報提供など	238	24	127	87
計	392	27	160	205
(前年度)	336	24	92	220

②派遣依頼内容別件数

(単位：件)

依頼内容	依 頼 先							計
	社協	行政 公的機関	学校	施設 病院	団体 関係機関	自治会 住民組織	個人	
イベント・行事協力	9	6	3	24	4	30	0	76
一時保育	0	1	0	0	0	0	0	1
外出介助・傾聴・自助具	0	0	0	0	0	0	0	0
車いす・アマスク体験	3	0	3	0	0	0	0	6
点訳・朗読・手話通訳	0	0	9	0	2	0	0	11
その他(V講師等)	0	1	1	4	1	0	0	7
計	12	8	16	28	7	30	0	101
(前年度)	8	3	10	25	7	14	1	68

(5) ボランティア養成講座

市民のボランティア活動への関心を高めるため、各種講座を開催し、ボランティア活動へ参加するきっかけをつくり、また、ボランティアの人材発掘と育成を行った。

①ボランティアジュニアスクール（夏・春2回開催）

市内の小・中学生を対象に、子どもたちが自主的・主体的なボランティア活動に取り組めるよう、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上と、ボランティア活動の楽しさを感じてもらうことを目的に実施した。

※(前年度) 参加者35人 スタッフ86人

○夏のボランティアジュニアスクール

実施日：平成28年8月27日(土)

場 所：福祉センターさやま荘、さつき荘

内 容：福祉センターを探検しながら、手話やクラフト、点字、傾聴などに関する様々なボランティアを体験した。

参加者：20人

スタッフ：43人

○春のボランティアジュニアスクール

実施日：平成29年3月18日(土)

場所：福祉センターさやま荘

内容：音楽や手話、折り紙等に関するボランティアを体験したり、身体障害者福祉協議会のメンバーとの交流会を実施した。

参加者：8人

スタッフ：28人

②手話ボランティア養成講座

手話ボランティア活動に必要な知識・技術を習得するとともに、聴覚障がい者への理解・認識を深めた。

実施日：平成28年4月14日～平成29年3月16日

毎週木曜日(全43回)

講師：片桐 多鶴子 氏

場所：公民館 講習室

受講者：20人

※(前年度) 受講者19人

③朗読ボランティア養成講座

朗読ボランティア活動に必要な知識・技術を習得するとともに、視覚障がい者への理解・認識を深めた。

実施日：平成28年8月31日～平成28年10月16日

毎週木曜日(全12回)

講師：端田 宏三 氏

場所：公民館 講習室

受講者：12人

※要約筆記ボランティア講座と隔年実施

(6) ボランティア活動支援助成

大阪狭山市ボランティアセンターに所属するボランティアグループに対し、ボランティア活動の振興と啓発、育成を目的に助成した。

①ボランティア保険掛け金助成 417人(前年度 416人)

②ボランティア活動助成 9件(前年度 8件)

【12】 災害ボランティアネット運営事業

大阪狭山市内の各種団体・NPO・企業・学校等を構成団体に、平常時から顔の見える関係づくりを目的に、防災減災に関する取り組みを行った。

(1) 会議

○検討会議

実施日：平成28年6月27日(月)

場所：さつき荘 会議室

内容：平成28年度 災害ボランティアネットの運営について

○定例会

<第1回>

実施日：平成28年7月5日（火）

場 所：さつき荘 スポーツ室

内 容：・役員の改選について

・平成28年度 災害ボランティアネットの進め方について

参加者：21人

<第2回>

実施日：平成28年8月2日（火）

場 所：市役所 第1会議室

内 容：災害にも強い、日頃のネットワーク、地域のつながりの重要性

参加者：23人

(2) 事業

○養成講座

<第1回>

実施日：平成28年11月27日（日）

場 所：さやま荘 大広間

内 容：災害支援ボランティア講座（入門編）

災害支援ボランティアの活動の心得

講 師：日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

参加者：18人

<第2回>

実施日：平成28年12月4日（日）

場 所：市役所南館

内 容：災害支援ボランティア講座（入門編）

災害ボランティアセンター設置運営訓練

講 師：日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

参加者：31人

○訓練

実施日：平成28年12月4日（日）

場 所：市役所南館

内 容：災害ボランティアセンター設置運営訓練

参加者：31人

○研修会

<第1回>

実施日：平成28年8月2日（火）

場 所：市役所 第1会議室

内 容：災害にも強い、日頃のネットワーク、地域のつながりの重要性

講 師：日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

参加者：23人

<第2回>

実施日：平成29年1月28日（土）

場 所：SAYAKAホール コンベンションホール

内 容：映画「その街の子ども 劇場版」上映

参加者：47人

○県外支援活動

<第1回>

実施日：平成28年5月15日（日）～17日（火）

場 所：熊本県菊池郡大津町、阿蘇郡西原村、上益城郡益城町等

内 容：車両支援、現場視察

参加者：4人

<第2回>

実施日：平成28年10月12日（水）～14日（金）

場 所：熊本県菊池郡大津町、阿蘇郡西原村等

内 容：車両支援の終了、現場視察

参加者：2人

○個人ボランティア登録 ※（前年度）45人

登録者数：48人（平成29年3月31日現在）

【13】社協“collect(コレクト)”事業

身近なボランティア活動として、また、限りある資源のリサイクル活動として、使用済み携帯電話や入れ歯・小型家電・インクカートリッジ・書き損じハガキ・各種プリペイドカード（テレホンカード等）の回収を行い、収益金は地域福祉事業を進める費用の一部として活用した。

回収ボックスは、市役所・公民館・コミセン・さやま荘の4か所及び、市内10カ所の小中学校に設置した。

物品売却	インクカートリッジ その他回収品	2,786円(3,019円) 0円(0円)	計2,786円(3,019円)
物品交換	はがき		190枚(103枚)

※()内は前年度実績

【14】広報啓発事業

(1) 大阪狭山市社協だよりの発行（年3回発行・全戸配布）

第87号：6月1日、第88号：10月1日、第89号：2月1日

(2) ホームページ、Facebookの運用

実施事業の詳細を伝えられるように、各種事業や地区福祉委員会活動をFacebookへ投稿し、ホームページの内容について適時見直しを行うなど、常に最新の情報を提供するように努めた。

【15】生活福祉資金貸付事業（大阪府生活福祉資金）

低所得者・障がい者・高齢者世帯、失業や減収等を原因として、生計の維持が困難となった世帯に対し、一時的な経済的支援として低利で必要な資金の貸付、生活再建のための継続的な相談支援を行い、世帯の自立を支援した。

①資金種類別相談件数

(単位：件)

資金種類	電話相談	窓口相談	計	(前年度)
福祉資金	71	48	119	140
緊急小口資金	33	14	47	26
総合支援資金	25	10	35	14
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	3
不動産担保型福祉資金	3	0	3	7
計	132	72	204	190

②資金種類別貸付件数および貸付額

資金種類	件数	貸付額	備考
福祉資金	7件	2,373,000円	一時的必要経費3件 教育2件 住居の移転2件
緊急小口資金	2件	172,000円	
総合支援資金	2件	396,000円	
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	
計	11件	2,941,000円	

※(前年度)

・福祉資金	13件	2,158,000円
・小口生活資金	2件	158,000円
・総合支援資金	1件	360,000円
・臨時特例つなぎ資金	0件	0円
合計	16件	2,676,000円

・要保護向け不動産担保型生活福祉資金
1件 4,767,000円 (貸付限度額)

【16】 各種団体への支援

民生委員・児童委員協議会及び関係福祉団体等の事務局として、事務局業務の円滑化を図るとともに、関係福祉団体の活動を支援した。

[関係福祉団体]

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協議会
- ・母子寡婦福祉会
- ・遺族会
- ・知的障害者(児)あんずの会(本人会)
- ・原爆被爆者の会
- ・介護者家族の会「たまゆら」

[その他関係団体]

- ・社会福祉施設連絡会
- ・大阪狭山市日中活動事業所連絡会

【17】 福祉と人権に関する課題への取り組み

職員の人権意識の向上を図るため、福祉と人権の諸問題について、大阪狭山市人権協会や大阪狭山市企業人権協議会の他、関係団体主催の研修会や講演会に参加した。

3. 受託事業

【1】心配ごと相談事業

心配ごと相談所を設置して、市民の日常生活における身近な悩みごとや相談に応じ、必要により社会資源を効果的に活用し、適切な助言及び指導、関係機関につなぐなど社会福祉の増進を図った。

相談員：25人（平成29年3月31日現在）

相談日時：毎週月曜日（開催延日数51日） 午後1時～4時

相談延件数：38件

相談利用者延数	19人(前年度 9人)																			
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者（児）福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	
相談延件数(件)	3	0	0	1	10	0	2	2	1	0	0	1	1	5	0	1	3	0	8	38
(前年度)	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	3	0	2	13

【2】寝具乾燥サービス事業

自宅での寝具の乾燥が困難なねたきりの高齢者や障がい者に対し、寝具の乾燥サービスを行い、健康保持と生活環境の向上を図った。

	利用者数 (人)	枚数 (枚)	(内 訳)	
			布団丸洗い乾燥	毛布丸洗い乾燥
上期	8	45	24	21
下期	5	23	13	10
計	13	68	37	31

※(前年度) 利用者12人 60枚

【3】訪問理美容サービス事業

理美容店の利用が困難なねたきりの高齢者や重度の心身障がい者の人に対し、訪問による理美容サービスを行い、保健衛生の向上とその家族の介護の軽減を図った。

登録者数：16人（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
利用者数	13	10	10	10	43

※(前年度) 登録者18人 利用者53人

【4】福祉機器貸出事業

市民に対し、車いすやギャッジベッド等の介護機器の貸し出しを行い、家族の介護の軽減など在宅福祉の推進を図った。

また、車いす体験等に取り組んでいる市内の学校や地区福祉委員会等へも貸し出しを行い、福祉教育の推進及び福祉委員の資質向上等に寄与した。

対象		福祉機器		
		車いす (台)	ベッド (台)	その他
個人	高齢者	37	0	
	身体障がい者	10	0	
	その他(ケガ等)	25	0	
団体	学校(7校)	85	0	アイマスク … 60個 点字板 … 100個 白杖 … 3本 車いす模擬体験コース… 2セット ※市内7校に貸し出し
	地区福祉委員会 (2地区)	8	0	車いす疑似体験コース… 2セット
	その他関係機関 (7機関)	50	0	車いす模擬体験コース… 1セット シニア体験装具 … 6セット
計		215	0	・アイマスク 60個 ・点字板 100個 ・白杖 3本 ・車いす模擬体験コース 5セット ・シニア体験装具 6セット

※(前年度)

- ・車いす 214台 ・ベッド 1台 ・アイマスク 70個 ・点字板 120個
- ・白杖 3本 ・車いす模擬体験コース 6セット ・シニア体験装具 12セット

【5】コミュニティソーシャルワーカー設置事業 (狭山中学校区・第三中学校区)

高齢者や障がい者、ひとり親家庭など、何らかの支援を必要とする人への個別相談活動を通して、必要なサービスや制度を紹介し利用を促し、支援に関わる団体や関係機関と連絡・調整を行い、ネットワークづくりを進めた。

また、今年度から狭山中学校区も担当し、第三中学校区と2ヶ所の中学校区で、更なる活動の推進を図った。

(1) 個別相談活動

【延べ件数】

相談対象者	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
高齢者に関すること	521人	99人	620人
・(うち)ひとり暮らし高齢者	(190人)	(65人)	(255人)
・(うち)高齢者のみの世帯	(18人)	(3人)	(21人)
・(うち)上記以外	(313人)	(31人)	(344人)
障がい者に関すること	447人	346人	793人
・(うち)身体障がい者	(26人)	(1人)	(27人)
・(うち)知的障がい者	(4人)	(159人)	(163人)
・(うち)精神障がい者	(417人)	(186人)	(603人)
その他	204人	316人	520人
計	1,172人	761人	1,933人

※(前年度 第三中学校区のみ)466人

相談内容	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
福祉制度・サービスに関すること	411件	89件	500件
生活に関すること	332件	162件	494件
健康・医療に関すること	519件	85件	604件
生活費に関すること	117件	218件	335件
就労に関すること	64件	105件	169件
その他	188件	211件	399件
計	1,631件	870件	2,501件

※(前年度 第三中学校区のみ)534件

(2) 個別相談以外の活動

活動内容	狭山中学校区	第三中学校区	合計件数
開発した新たなサービス	14件	10件	24件
既存の公的サービス等への紹介	4件	13件	17件
その他（各種団体等への情報提供）	8件	27件	35件
ケース会議	61回	51回	112回
研修会参加	8回	5回	13回
計	95件(回)	106件(回)	201件(回)

※(前年度 第三中学校区のみ) 80件(回)

【6】生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

介護保険法の改正に伴い、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」を新たに市から受託し、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、資源開発や関係者のネットワークの構築に向けたコーディネートを行い、地縁組織等の多様な主体への協力を働きかけ、定期的な情報共有を図る協議体において連携・協働による取組を推進した。

(1) 会議関係

- ・大阪狭山市高齢介護グループとの定例会議に参加
- ・大阪狭山市地域包括支援センターとの定例会議に参加
- ・その他、各関係会議に参加

(2) ネットワーク機能の構築

- ・大阪狭山市地域づくり意見交換会への運営支援

会議	開催日	会議内容
第1回	平成28年12月14日	協議体の役割・趣旨等について、現行の介護保険制度及び介護予防・日常生活支援総合事業の説明、大阪狭山市の既存の支え合い活動について、その他
第2回	平成29年 1月25日	協議体について、参加団体の活動紹介、総合事業における他市の取り組み状況及び大阪狭山市の状況について、その他
第3回	平成29年 2月28日	協議体について、参加団体の活動紹介、他市の取り組み紹介について、その他
第4回	平成29年 3月28日	協議体について、参加団体の活動紹介、地域資源マップの作成に向けて、その他

- ・各種ネットワークづくり

(3) 調査・研究

- ・既存の支え合い活動について調査
- ・地域づくり意見交換会参加団体へヒアリング

(4) 資源開発

- ・地域ケア会議、地域福祉活動計画、地区福祉委員会で挙がる課題の把握

(5) 啓発

- ・大阪狭山市開催、住民向け総合事業説明会の企画等のサポート
- ・その他、説明会の実施

(6) 研修関係

- ・各種研修会への参加

【7】福祉センター事業（指定管理者）

さやま荘はリニューアルオープン後3年が経過し、ゆっくりとくつろげる空間を多くし、より地域に開かれた施設として、各種事業の充実や新たなプログラムの開発に取り組んだ結果、利用者数が増加した。

また、センター利用者に対しても、常に挨拶や声かけをするなど、利用者の思いに沿ったサービスを行うよう心がけた。

さらに、今年度も夏季期間中（7～9月）の開館時間を延長し、利用者の利便性・満足度の向上に努めた。

その他、エコアクション21の推進のため、LED照明器具・省エネ蛍光灯管の使用や空調利用の一括管理、節水の呼びかけなどにより、都市ガス・電気・水道の使用量の削減を図るなど、環境に配慮した施設運営を行った。

(1) 大阪狭山市立老人福祉センター「さやま荘」

リニューアルオープン後3年目を迎え、利用者の利便性・満足度の向上のためアンケート調査を行い、利用者の意見の把握に努めた。

クラブ活動では、「ロコモ体操同好会」が新たにクラブ化を果たし、運営の安定に向けた支援も行った。

また、季節を感じてもらえるよう季節の飾りを玄関に設置したり、映画祭を季節ごとに実施するなど、施設内の環境改善に取り組んだ。

その他、夏期期間中の開館時間延長や緑化活動を行った。

①利用状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
個人	男	3,460	3,094	3,390	3,455	3,298	3,477
	女	2,638	2,475	2,714	2,493	2,366	2,492
団体		362	733	946	431	375	623
計		6,460	6,302	7,050	6,379	6,039	6,592

区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
個人	男	3,439	3,367	3,044	2,896	3,129	3,488	39,537	38,899
	女	2,779	2,900	2,456	2,057	2,442	2,626	30,438	29,264
団体		830	281	486	254	314	594	6,229	7,819
計		7,048	6,548	5,986	5,207	5,885	6,708	76,204	75,982

②お風呂利用者数

(単位：人)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延 人 数	1,917	1,720	1,689	1,761	1,710	1,666

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	：	(前年度)
延 人 数	1,693	1,688	1,634	1,622	1,827	1,544	20,471	：	21,556

③血圧測定利用者数

(単位：人)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
男 子	64	52	50	58	53	50
女 子	37	32	40	24	27	28
計	101	84	90	82	80	78

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	：	(前年度)
男 子	60	50	52	39	52	50	630	：	646
女 子	36	26	22	31	16	23	342	：	363
計	96	76	74	70	68	73	972	：	1,009

④さやま荘クラブの活動状況

[1]クラブ活動日程及び会員数

(単位：人)

クラブ名	活 動 日	会員数	クラブ名	活 動 日	会員数
俳 句	第1・3火曜日	9	カラオケ1	第2・4木曜日	30
手 芸	第1~3月曜日	20	カラオケ2	第1・3木曜日	22
謡 曲	第1・3水曜日	7	新 操	第2・4月曜日	9
茶 道	第1・3木曜日	10	パソコン	第1・3木曜日	47
園 芸	第2・4火曜日	11	社交ダンス	第1~4月曜日	18
書 道	第2・4火曜日	19	フラダンス	第2・4水曜日	21
華 道	第2・4木曜日	16	英 会 話	第1~4金曜日	34
麻 雀	休館日を除く毎日	92	和 太 鼓	第1・3土曜日	11
太 極 拳	第2・4水曜日	31	漢の料理	第1月・第4木	22
将 棋	休館日を除く毎日	42	卓 球	月・水・金	47
囲 碁	休館日を除く毎日	46	カラオケ3	第1・3金曜日	28

バンパー	休館日を除く毎日	42	ロコモ体操	第1~4水曜日	71
ゲートボール	火・木・土の午前中	13			
			計	25クラブ	718

※(前年度) 23クラブ 649人

[2]月別参加者数

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延人数	1,195	899	959	1,253	1,096	1,251

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	1,300	1,039	1,239	966	1,204	1,310	13,711

※(前年度) 10,720人

⑤風呂の日

毎月26日を「風呂の日」と定め、入浴料を無料とし利用促進を図った。

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	115	80	106	88	90	107

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	100	108	108	102	127	122	1,253

※(前年度) 1,263人

⑥高齢者なんでも相談 (毎月1回)

地域包括支援センターと在宅介護支援センターの専門相談員が介護に関する相談に応じ、サービスや制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を行った。

⑦映画会 (毎月 第1水曜日)

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
参加者数	52	65	51	62	62	60

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	33	41	51	30	47	41	595

※(前年度) 593人

⑧映画祭（季節ごとに開催）

（単位：人）

区 分	実 施 日	参加者数
夏の映画祭	8月17日	110
秋の映画祭	10月18日・11月15日	103
冬の映画祭	1月30日・31日	46

⑨青春の思い出を歌う会（偶数月 第1日曜日）

（単位：人）

区 分	4 月	6 月	8 月	10月	12月	2 月	計
参加者数	109	96	94	104	74	81	558

※(前年度) 581人

⑩落語会（年4回）

（単位：人）

区 分	4 月	7 月	10月	1 月	計
参加者数	26	19	23	25	93

※(前年度) 76人

⑪エンジョイレク（毎月 第1、3日曜日）

（単位：人）

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
参加者数	47	58	63	28	54	30

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
参加者数	57	65	64	53	66	61	646

※(前年度) 434人

⑫その他の取り組み

[1]緑化活動の推進（グリーンカーテン・季節毎の草花）

※前年度も実施

[2]福祉センターだより 第7号の発行（平成28年10月1日）

※(前年度) 1回発行

[3]各種講座の開催

1. 「現代版 論語講座」～心も頭もいきいき～

日 時：平成28年4月20日(水)

5月18日(水)

6月15日(水)

午前10時00分より

場 所：さやま荘 多目的室

参加者数：延べ26名

2. 「高齢者教養講座」～特殊詐欺の被害防止について～

日 時：平成28年12月13日(火) 午後1時30分より

場 所：さやま荘 大広間

参加者数：46名 ※老人クラブ連合会との共催

※(前年度) 2回開催 延べ118名参加

[4]夏季期間中(7～9月)における開館時間延長

実施期間：平成28年7月1日～9月30日

開館時間：午前9時00分～午後6時00分

※通常：午前 9時00分～午後5時00分

そ の 他：浴場利用時間・・・午前11時00分～午後5時00分

※通常：午前11時00分～午後4時00分

※前年度も実施

[5]職場体験学習受け入れ(市立南中学校2年生)

目 的：職場体験の実施に協力し、生徒の受け入れを行った。
受付業務を体験したり、クラブ活動に参加することにより利用者との交流を図った。

実 施 日：平成28年11月17日(木)・18日(金)

場 所：さやま荘

障害者地域活動支援センター

人 数：3名(前年度 2名)

[6]福祉センター見学会受け入れ

目 的：市民団体などの福祉センター見学を受け入れ、施設の役割・目的・事業内容などについて説明を行った。

実 施 日：平成28年10月7日(金)

場 所：さやま荘・さつき荘・障害者地域活動支援センター

団 体 数：1団体

(2) 心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センターさつき荘

身体障害者福祉協議会や母子寡婦福祉会と連携し、クラブや会議で積極的に利用していただけるよう取り組んだ。

身体障がいのある方が集える場所づくりの支援として身体障害者福祉協議会主催による「サロンさやま」を開設し、障がい者の交流の場づくりを行った。

また、利用者の利便性向上のため、今年度も夏季期間中の開館時間延を行った。

①利用状況

(単位：人)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
心 身 障がい者	男	93	88	90	77	79	68
	女	164	167	268	187	180	135
母 子		46	50	38	46	45	43
団 体		917	1,024	1,048	996	993	1,096
計		1,220	1,329	1,444	1,306	1,297	1,342

区 分		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	(前年度)
心 身 障がい者	男	66	72	53	79	83	85	933	1,254
	女	145	127	129	159	174	160	1,995	2,142
母 子		52	13	38	3	42	44	460	501
団 体		1,300	954	906	883	1,045	1,091	12,253	11,526
計		1,563	1,166	1,126	1,124	1,344	1,380	15,641	15,423

②さつき荘クラブ活動状況

○クラブ活動日程及び会員数

(単位：人)

クラブ名	活 動 日	会員数	クラブ名	活 動 日	会員数
絵 手 紙	第 3 木曜日	6	カラオケ	第2・4木曜日	18
茶 道	第1・3火曜日	3	舞 踊	第1・3金曜日	3
リズム体操	第1・3土曜日	4	計 5クラブ		34

※(前年度) 5クラブ 35人

③ひとり親家庭相談（寡婦含む）

ひとり親家庭の生活・自立に関する相談や子どもの養育・教育に関する相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行い、社会的・経済的に不安定なひとり親家庭の生活安定を図るための相談日を設けた。

相談日時：第1・3土曜日 午前10時～12時
 延べ相談件数：0件

④心身障がい者相談

心身障がい者(児)の生活・医療に関する相談や、手帳の申請・変更のほか、年金・身上相談等の相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行うための相談日を設けた。

相談日時：身体障がい者相談 第2金曜日 午後1時～4時
 知的障がい者相談 第3土曜日 午後1時～4時
 延べ相談件数：1件

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
身障相談	0	0	0	1	0	0
知的相談	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	0

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
身障相談	0	0	0	0	0	0	1	1
知的相談	0	0	0	0	0	0	0	10
計	0	0	0	0	0	0	1	11

⑤身体障がい者サロン「サロンさやま」（奇数月第3土曜日）

身体障がいのある方のふれあい交流スペースとして、身体障害者福祉協議会主催の「サロンさやま」を開設した。

(単位：人)

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
参加者数	27	25	26	28	20	29	155

※(前年度) 6回 119人

(3) 障害者地域活動支援センター事業

知的障がいや身体障がいのある方の日中活動の場として、制作活動や創作活動、作業活動（プラスチック製品の袋詰め等）・カフェ活動・各種クラブ活動等を行い、心身ともに充実した時間が過ごせるように取り組んだ。

①開所日数及びメニュー別延べ利用者人数

(単位：人)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日数(日)	21	19	23	20	21	19
創作活動(貼り絵・園芸他)	188	194	234	213	208	203
制作活動(共同制作・押し絵他)	102	79	90	90	101	82
作業活動(製品組立他)	72	62	79	65	57	61
計	362	335	403	368	366	346

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日数(日)	20	20	20	18	20	22	243
創作活動(貼り絵・園芸他)	212	188	196	182	185	212	2,415
制作活動(共同制作・押し絵他)	81	101	80	74	79	80	1,039
作業活動(製品組立他)	60	69	54	48	55	63	745
計	353	358	330	304	319	355	4,199

※(前年度) 開所日数 241日
 創作活動(貼り絵・園芸他) 2,940人
 制作活動(共同制作・押し絵他) 1,236人
 作業活動(製品組立他) 1,006人 計5,182人

②主な行事

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
狭山池まつり博楽人	4月24日	狭山池での展示・販売	4名
野外レクリエーション(1回目)	6月10日	木下大サーカス鑑賞	23名
歯科検診	6月23日	歯科医師会によるボランティア診察	12名
ハートケアフェスタ	6月25日	SAYAKAホールでの販売	4名
プール活動(1回目)	7月26日	堺市ファイブプラザでのプール活動	10名
夏祭り	8月19日	施設内で模擬店やスイカ割り	25名
プール活動(2回目)	9月 6日	堺市ファイブプラザでのプール活動	8名
健康診断	9月29日	さやま荘で健康診断の実施	13名
はばたきフェスタ	11月 5日 6日	福祉センターでの展示発表・販売 等	38名
野外レクリエーション(2回目)	11月25日	神戸どうぶつ王国の見学	27名
フェスタにんげんばんざい	12月 4日	公民館で人権啓発(太鼓クラブ発表)	8名
クリスマス会	12月20日 23日	施設内で昼食会・ゲーム等	26名
新年会	1月20日	さつき荘にて演奏会・ビンゴゲーム等	26名

③クラブ活動別参加者延べ人数

(単位：人)

クラブ名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
パソコン	8	8	8	3	4	3
茶道	9	7	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
華道	7	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし
和太鼓	8	5	10	10	4	5
書道	6	4	6	6	6	7
陶芸	9	8	9	9	9	8
クッキング	実施なし	5	実施なし	5	5	5
計	47	37	33	33	28	28

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
パソコン	6	実施なし	実施なし	4	5	4	53	73
茶道	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	16	93
華道	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	6	6	19	69
和太鼓	10	10	10	6	9	10	97	103
書道	6	5	7	5	6	6	70	82
陶芸	8	実施なし	7	8	8	8	91	82
クッキング	5	5	5	5	5	5	50	32
計	35	20	29	28	39	39	396	534

(4) はばたきフェスタの開催

福祉センター（さやま荘、さつき荘、障害者地域活動支援センター）を利用する団体や利用者が、文化ゾーンの施設（公民館・図書館・保健センター・シルバー人材センター・市史編さん所）と協働し、日頃の活動成果を市民に発表するとともに、各関係機関・団体との交流を図った。

実施期間：平成28年11月5日（土）～11月6日（日）

来館者数：延べ 6,099人（前年度 延べ5,585人）

内 容：

- ①オープニングセレモニー（5日）【正面玄関】
 - 市立第三中学校吹奏楽部による演奏
 - さやま荘太極拳クラブによる発表
 - さやま荘フラダンスクラブによる発表
- ②演芸大会【大広間】
 - さやま荘クラブ（5日）
 - さつき荘クラブ、地域活動支援センター、各福祉団体（6日）
- ③競技大会【各部屋、ちびっ子広場】
 - 囲碁 … さやま荘囲碁クラブ（5日）
 - 将棋 … さやま荘将棋クラブ（6日）
 - 麻雀 … さやま荘健康麻雀クラブ
 - ゲートボール … さやま荘ゲートボールクラブ（6日）
- ④展示会・御茶席【各部屋】
 - 書道、俳句、パソコン、手芸、華道(生け花) … さやま荘クラブ
 - 絵手紙 … さつき荘クラブ
 - 手工芸、陶芸、作品展 … 障害者地域活動支援センター
 - 自助具の展示 … 自助具の工房さやま（5日）
 - 御茶席 … さやま荘茶道クラブ（6日）・さつき荘茶道クラブ（5日）
- ⑤模擬店（遊ぶ・買う・食べる）
 - 手作り品、飲み物、野菜苗 … 障害者地域活動支援センター
 - 焼きそば … 知的障害児(者)あんずの会
 - おにぎり・お茶 … 民生委員・児童委員協議会
 - おでん … ボランティアグループ連絡会
 - 新米 … さやま荘クラブ委員会
 - 野菜販売 … さやま荘園芸クラブ
 - たまごせんべい・餅つき … さやま荘漢の料理クラブ
 - ポップコーン … 社会福祉協議会職員厚生会
 - ヨーヨーつり、スーパーボールすくい
… ボランティアグループ連絡会
 - 石けん、小物 … 福祉作業所はっぴい²（5日）
 - パンケーキ … おーじー作業所（5日）
 - フランクフルト … たんぼぼの丘（5日）
 - 手作りクッキー、飲み物 … ワークくみのき（6日）
 - パン … のんのん（6日）
 - カフェさつき … 障害者地域活動支援センター
- ⑥体験コーナー【ロビー・各部屋・ちびっ子広場】
 - バンパープール体験 … さやま荘バンパークラブ
 - 囲碁体験 … さやま荘囲碁クラブ
 - 将棋体験 … さやま荘将棋クラブ
 - 麻雀体験 … さやま荘健康麻雀クラブ
 - パソコン体験 … さやま荘パソコンクラブ
 - ゲートボール体験 … さやま荘ゲートボールクラブ（6日）
 - グラウンドゴルフ体験 … 老人クラブ連合会（5日）
- ⑦喫茶・小物づくりボランティア紹介パネル展示【サロン室】
 - … ボランティアグループ連絡会
- ⑧介護・福祉・健康に関する総合相談 … 地域包括支援センター
- ⑨子育てほっとさろん「さつき」【ワーキング室】（6日）
 - … 社会福祉協議会

【8】地域包括支援センター事業

(1) 総合相談支援

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じて様々な相談を受け、相談内容に即したサービスや制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を行い、内容によっては、本人や家族、関係者に対して状況把握を行い、専門的・継続的な関与や緊急の対応も行った。

また、地域や関係団体、福祉イベントへ出向き、出張相談を行うとともに「介護なんでも電話相談」を月曜から金曜の9時～17時30分を実施した。

①相談件数

(単位：件)

区 分	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月	
	初回	継続								
来 所	17	24	12	26	17	51	12	39	16	35
出 張	4	2	0	1	1	3	0	0	0	2
訪 問	3	65	1	48	3	79	3	101	2	105
電 話	49	287	40	232	68	335	39	381	43	342
電話(介護なんでも相談)	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0
文 書	0	8	0	3	0	1	0	6	0	5
その他(メール・FAX等)	0	1	0	2	0	4	0	5	0	7
計	74	387	53	312	89	473	55	533	63	496

区 分	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月	
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続
来 所	8	26	17	36	21	32	7	39	17	39
出 張	1	0	0	2	4	3	0	3	0	0
訪 問	2	97	1	107	1	110	3	81	1	63
電 話	29	356	51	400	61	435	41	448	37	424
電話(介護なんでも相談)	0	2	8	0	2	0	6	0	2	0
文 書	0	6	0	2	0	6	0	6	0	10
その他(メール・FAX等)	0	3	0	4	0	2	0	2	0	10
計	40	490	77	551	89	588	57	579	57	546

区 分	2 月		3 月		計			(前年度)
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	計	計
来 所	23	41	19	29	186	417	603	588
出 張	0	0	1	3	11	19	30	53
訪 問	3	104	4	76	27	1,036	1,063	938
電 話	38	472	44	427	540	4,539	5,079	4,314
電話(介護なんでも相談)	3	0	3	2	28	5	33	13
文 書	0	6	0	15	0	74	74	16
その他(メール・FAX等)	0	4	0	3	0	47	47	59
計	67	627	71	555	792	6,137	6,929	5,981

②相談者の区分

(単位：件)

区 分	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月	
	初回	継続								
本 人	10	79	9	72	17	117	10	127	5	121
家 族	26	77	13	67	19	82	19	102	20	81
介護支援専門員	24	63	14	77	28	89	14	100	19	93
介護サービス事業所職員	1	34	1	28	1	30	0	43	1	45
行政関係者	7	69	4	23	9	55	5	69	8	52
医療機関	1	25	6	16	5	34	4	30	3	34
関係機関	2	31	2	20	5	50	2	41	6	43
認知症疾患医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員	1	3	2	2	2	5	1	6	0	15
近隣・知人	2	3	2	4	2	5	0	6	1	11
後見人	0	3	0	3	0	6	0	3	0	1
その他	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0
計	74	387	53	312	89	473	55	533	63	496

区 分	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月	
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続
本 人	7	116	10	118	16	133	7	115	9	110
家 族	12	89	29	109	28	92	23	94	20	103
介護支援専門員	10	91	23	101	18	112	13	123	12	124
介護サービス事業所職員	0	33	3	56	1	65	1	74	1	40
行政関係者	5	77	5	55	12	92	9	77	6	85
医療機関	2	30	3	39	7	42	1	31	1	22
関係機関	3	43	2	53	3	29	1	45	4	41
認知症疾患医療センター	0	0	0	4	1	4	0	2	0	2
民生委員	1	5	0	7	0	7	0	10	1	8
近隣・知人	0	3	2	3	2	7	2	6	3	7
後見人	0	1	0	5	0	1	0	2	0	4
その他	0	2	0	1	1	4	0	0	0	0
計	40	490	77	551	89	588	57	579	57	546

区 分	2 月		3 月		計			(前年度)
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	計	計
本 人	8	120	8	96	116	1,324	1,440	1,246
家 族	26	112	23	114	258	1,122	1,380	1,175
介護支援専門員	17	117	14	118	206	1,208	1,414	1,266
介護サービス事業所職員	4	53	2	43	16	544	560	315
行政関係者	4	102	8	109	82	865	947	760
医療機関	3	40	4	32	40	375	415	355
関係機関	4	48	6	22	40	466	506	467
認知症疾患医療センター	0	5	0	3	1	20	21	4
民生委員	0	19	2	13	10	100	110	97
近隣・知人	1	8	4	5	21	68	89	99
後見人	0	1	0	0	0	30	30	173
その他	0	2	0	0	2	15	17	24
計	67	627	71	555	792	6,137	6,929	5,981

③相談内容(延べ数)

(単位：件)

区 分	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月	
	初回	継続								
介護相談(介護方法等)	1	3	1	2	1	2	3	17	1	1
介護保険サービス	59	260	40	204	74	284	43	324	47	256
介護保険の地域支援事業	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1
その他保健・医療・福祉サービス	2	35	2	18	2	41	5	29	6	36
インフォーマルサービス	3	9	0	4	0	13	0	11	0	18
ケアマネジメント等	0	5	0	11	1	28	0	38	3	38
虐待・権利擁護	2	9	2	13	3	46	4	60	3	49
その他	10	104	8	98	12	142	6	159	14	207
計	77	425	53	350	95	557	62	639	75	606

区 分	9 月		10 月		11 月		12 月		1 月	
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続	初回	継続
介護相談(介護方法等)	2	0	0	1	1	0	2	0	2	2
介護保険サービス	26	245	56	284	65	371	42	374	43	373
介護保険の地域支援事業	0	1	2	6	0	2	1	4	0	1
その他保健・医療・福祉サービス	0	22	1	52	1	41	1	42	4	53
インフォーマルサービス	0	7	0	6	6	27	2	21	3	20
ケアマネジメント等	1	25	4	44	2	36	1	33	1	24
虐待・権利擁護	7	95	1	54	8	63	2	38	1	29
その他	6	181	20	207	26	147	15	167	17	148
計	42	576	84	654	109	687	66	679	71	650

区 分	2 月		3 月		計			(前年度)
	初回	継続	初回	継続	初回	継続	計	計
介護相談(介護方法等)	1	0	0	1	15	29	44	57
介護保険サービス	49	363	50	354	594	3,692	4,286	3,362
介護保険の地域支援事業	0	1	2	4	9	22	31	8
その他保健・医療・福祉サービス	9	82	5	65	38	516	554	549
インフォーマルサービス	4	24	4	17	22	177	199	102
ケアマネジメント等	2	22	2	17	17	321	338	353
虐待・権利擁護	5	35	5	18	43	509	552	840
その他	19	249	17	166	170	1,975	2,145	1,467
計	89	776	85	642	908	7,241	8,149	6,738

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関、医療機関、地域のインフォーマルサービスとの連携体制づくりや介護支援専門員に対する個別支援、専門職に対する研修会を行った。

特に、行政関係者や介護保険事業者、社会福祉協議会や在宅介護支援センター等の実務者が集まり、事例検討を通じた地域ケア会議の開催、警察、消防、美容院等で認知症サポーター養成講座を行い、連携体制づくりに力を入れた。

また、介護者家族の集いの運営の支援を行った。

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
支 援 数	13	29	45	54	59	53
内						
体制構築	8	18	16	16	18	27
個別支援	5	11	29	38	41	26

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	(前年度)
支 援 数	62	55	50	46	46	49	561	489
内								
体制構築	14	17	16	21	22	30	223	136
個別支援	48	38	34	25	24	19	338	353

(3) 権利擁護

認知症等で判断能力が低下し金銭管理等が困難な高齢者に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の活用の支援を行った。

また、高齢者虐待防止のために、地域や介護施設等に出向いて、虐待についての認識を高めるとともに、虐待事例を把握した場合は、市と連携を取りながら対応を行い、定期的に事例の共有や振り返りの機会を持った。

さらに、消費者被害の防止のために、地域や介護関係者等に必要な情報提供を行い、市の担当者や消費生活センターと連携して情報交換を行った。

①対応件数

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
ケース数	5(2)	7(2)	11(3)	12(4)	15(3)	17(7)
対応延べ件数	11	15	49	64	52	102

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	(前年度)
ケース数	13(1)	22(8)	10(2)	8(1)	11(5)	10(5)	141(43)	275(61)
対応延べ件数	55	71	40	30	40	23	552	840

※() は、新規ケース数(内数)

②対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
虐待	身体的虐待	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)	4(1)	2(0)
	経済的虐待	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	心理的虐待	0(0)	1(1)	1(0)	3(0)	3(0)	1(1)
	性的虐待	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	介護放棄	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
成年後見制度		5(2)	6(1)	6(1)	8(4)	8(2)	11(5)
日常生活自立支援事業		0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	3(1)
消費者被害		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

区 分		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
虐待	身体的虐待	2(0)	3(0)	1(0)	0(0)	2(1)	0(0)	17(2)
	経済的虐待	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
	心理的虐待	2(0)	2(1)	1(0)	1(0)	0(0)	1(1)	16(4)
	性的虐待	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	介護放棄	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
成年後見制度		8(1)	15(5)	8(2)	6(0)	8(3)	7(2)	96(28)
日常生活自立支援事業		0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	2(2)	8(6)
消費者被害		0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)

※(前年度)

- ・虐待 48件(15件)
- ・成年後見制度 214件(40件)
- ・日常生活自立支援事業 8件(3件)
- ・消費者被害 5件(3件)

※() は、新規ケース数(内数)

(4) 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の認定を受けた予防給付対象者や支援、介護が必要となるおそれの高い人(二次予防高齢者)に対して、ケアマネジメントを行った。

①予防給付

(単位：件)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
通常請求		650	654	664	672	691	687
内訳	地域包括作成	280	279	286	283	297	298
	委託事業所作成	370	375	378	389	394	389

月遅れ請求		8	3	2	5	13	6
内訳	地域包括作成	2	0	0	3	4	1
	委託事業所作成	6	3	2	2	9	5
請求件数計		658	657	666	677	704	693
内訳	地域包括作成	282	279	286	286	301	299
	委託事業所作成	376	378	380	391	403	394

区 分		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
通常請求		688	698	698	706	698	696	8,202
内訳	地域包括作成	300	309	305	307	310	309	3,563
	委託事業所作成	388	389	393	399	388	387	4,639
月遅れ請求		3	4	3	4	1	6	58
内訳	地域包括作成	0	1	0	0	0	0	11
	委託事業所作成	3	3	3	4	1	6	47
請求件数計		691	702	701	710	699	702	8,260
内訳	地域包括作成	300	310	305	307	310	309	3,574
	委託事業所作成	391	392	396	403	389	393	4,686

※(前年度) 7,526件 (地域包括作成 3,556件、委託事業所作成 3,970件)

②二次予防高齢者

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規件数	1	0	0	0	1	0
終了件数	0	0	0	0	0	0
当月末件数	23	23	23	23	24	24

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規件数	0	1	0	0	0	0	3
終了件数	0	0	0	0	0	0	0
当月末件数	24	25	25	25	25	25	

※(前年度) 新規件数 2人、終了件数 7人、年度末件数22人

(5) 会議関係

包括的・継続的ケアマネジメント支援を行うために、各種会議を開催するとともに、行政機関や関係機関の開催する会議に出席した。

来年度から開始する介護予防・日常生活支援総合事業を推進するための協議体設置に向けた、地域づくり意見交換会に参加した。

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開催回数(回)	8	18	16	16	18	27
参加人数(人)	65	202	314	139	225	357
参加事業所数	30事業所	38事業所	40事業所	35事業所	40事業所	36事業所

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開催回数(回)	14	17	16	21	22	30	223
参加人数(人)	175	297	390	239	351	366	3,120
参加事業所数	37事業所	40事業所	36事業所	36事業所	34事業所	33事業所	435事業所

※(前年度) 開催回数 136回 参加人数 1,700人 参加事業所数 428事業所

(6) 普及・啓発活動

地域や関係団体、福祉イベントに出向き、地域包括支援センターや介護保険、虐待・権利擁護などの説明や健康に関するミニ講座や、地域ケア会議のメンバーが講師役となって地域に出向く、出前勉強会「ご近所力のアップ」を行った。

また、地域包括支援センターを理解してもらうために、ホームページや社協だより、フェイスブック、市の広報を活用しPRを行った。地域包括支援センターを紹介したパンフレットや高齢者介護なんでも電話相談のチラシの改訂を行った。

さらに、専門職に対して「高齢者虐待」や「成年後見制度」、「認知症」に関する研修会、一般市民や企業、警察、消防、ボランティア、小学校や関係機関には「認知症サポーター養成講座」の開催、地区福祉委員会主催の「認知症安心声かけ訓練」にも協力したほか、高齢者の介護や認知症を理解してもらうために、「ハートケアフェスタ」を市と合同で開催、認知症の人が自らの力を発揮し仲間とともに楽しめるよう、河内長野市地域包括支援センターと共催でソフトボール大会の開催、認知症の人や家族、支援者や一般の人とともにタスキをつなぐ列島リレー“RUN伴”を実施した。

今後も、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営み、より活動的な生活が送れるように、いきいき百歳体操を市内の各地域で広める取り組みを行った。

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開催回数(団体)	3	4	5	5	8	7
参加人数(人)	71	230	674	201	192	233

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開催回数(団体)	8	6	5	2	4	4	61
参加人数(人)	263	272	146	113	121	171	2,687

※(前年度) 開催回数 61回 参加人数 2,728人

(7) ハートケアフェスタ

「高齢になっても住みなれた地域で住み続けられるまちへ」をテーマに、介護・福祉展を大阪狭山市と合同で開催した。

実施日：平成28年6月25日(土)

場 所：SAYAKAホール

来場者数：延べ600人(前年度 延べ400人)

内 容：

- ・特別講演「これからの生き方、支え合い方、暮らしやすいまちをつくろう」
- ・パネルディスカッション「高齢になっても、住み慣れた地域で住み続けられるまち、大阪狭山市」
- ・市内小学校(5、6年生)から寄せられた「高齢者とわたし」入選標語の表彰
- ・介護者家族のつどい ミュージックケア2016～心をつなぐ音楽療法～
- ・いきいき百歳体操
- ・認知症カフェ「さやりんカフェ」～認知症について気軽に話し合おう～
- ・各体験コーナー
- ・各団体・機関の紹介コーナー
- ・施設部会の栄養指導

など

【9】障がい者基幹相談支援センター事業

障がいの種別を問わず、大阪狭山市に居住する障がい者や家族等からの相談に応じるとともに、基幹相談としての役割として地域における総合的かつ専門的な相談支援の中核的な役割を担った。

また、地域自立支援協議会の活動が活発化するよう、各部会・ワーキングの整理を行い、各関係機関が積極的に参加し意見できる環境を整えた。

中でも委託相談支援事業所が、サービス等利用計画の作成に追われ、本来の委託相談業務ができないという課題に対しては、相談支援部会の中で課題を共有し、相談支援体制を整えることで、指定計画相談支援事業所・障害児相談支援事業所に移管する仕組みができた。

○障がい者相談支援事業

①利用者数

(単位：人)

区 分			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
障がい者			62	28	19	16	8	7
障がい児			22	6	7	2	2	2
計			84	34	26	18	10	9
障 が い 区 分 (再 掲)	身体 障がい	障がい者	8	6	2	4	1	2
		障がい児	0	0	0	1	0	0
	重症心身 障がい	障がい者	0	0	1	0	0	0
		障がい児	3	1	3	0	0	0
	知的 障がい	障がい者	34	18	8	4	5	4
		障がい児	16	4	4	1	0	2
	精神 障がい	障がい者	11	3	6	4	0	0
		障がい児	0	0	0	0	0	0
	発達 障がい	障がい者	3	0	0	0	1	0
		障がい児	3	1	0	0	2	0
高次脳機能 障がい	障がい者	1	0	0	0	0	0	
	障がい児	0	0	0	0	0	0	
その他	障がい者	5	1	2	4	1	1	
	障がい児	0	0	0	0	0	0	

区 分			10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	(前年度)
障がい者			6	3	3	2	9	6	169	163
障がい児			2	2	1	1	5	3	55	50
計			8	5	4	3	14	9	224	213
障 が い 区 分 (再 掲)	身体 障がい	障がい者	0	0	1	1	0	1	26	31
		障がい児	0	0	0	0	0	0	1	0
	重症心身 障がい	障がい者	0	0	0	0	0	0	1	1
		障がい児	0	0	0	0	2	0	9	9
	知的 障がい	障がい者	3	1	0	1	2	1	81	77
		障がい児	1	1	1	1	2	3	36	30
	精神 障がい	障がい者	2	0	0	0	1	1	28	25
		障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達 障がい	障がい者	0	0	0	0	1	0	5	2
		障がい児	1	1	0	0	0	0	8	7
高次脳機能 障がい	障がい者	0	1	0	0	0	2	4	2	
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	障がい者	1	1	2	0	5	1	24	25	
	障がい児	0	0	0	0	1	0	1	4	

②支援方法

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
訪 問	83	80	105	73	75	79
来 所	29	36	47	37	38	36
同 行	10	1	4	7	1	2
電話等	61	91	97	81	57	52
個別支援会議	7	6	3	5	2	2
関係機関	2	0	4	5	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
計	192	214	260	208	173	172

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	(昨年度)
訪 問	50	66	53	57	69	67	857	791
来 所	29	25	32	29	38	26	402	307
同 行	4	1	0	1	1	2	34	53
電話等	76	60	52	51	78	51	807	766
個別支援会議	4	5	0	2	5	4	45	67
関係機関	4	17	0	2	0	1	36	42
その他	0	0	0	0	0	0	0	4
計	167	174	137	142	191	151	2,181	2,030

③支援内容

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
福祉サービスの利用等	91	116	161	119	108	113
障がいや病状の理解	4	7	1	1	7	8
健康・医療	5	6	11	10	5	3
不安の解消・情緒安定	2	0	5	15	5	4
保育・教育	22	24	23	21	10	17
家族関係・人間関係等	0	3	0	7	0	0
家計・経済	1	3	1	3	5	3
生活技術	40	17	25	7	13	7
就労	7	9	8	7	4	2
社会参加・余暇活動	0	0	0	0	0	0
権利擁護	2	4	6	2	1	2
その他	18	25	19	16	15	13
計	192	214	260	208	173	172

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
福祉サービスの利用等	106	101	90	90	104	86	1,285
障がいや病状の理解	11	8	2	4	5	3	61
健康・医療	6	2	0	3	4	5	60
不安の解消・情緒安定	3	4	4	1	2	2	47
保育・教育	11	11	9	4	16	16	184
家族関係・人間関係等	0	2	0	0	0	1	13
家計・経済	1	1	0	2	7	3	30
生活技術	7	25	14	23	43	29	250
就労	5	3	2	4	2	1	54
社会参加・余暇活動	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	1	0	2	3	4	1	28
その他	16	17	14	8	4	4	169
計	167	174	137	142	191	151	2,181

※(前年度) 2,030件

(福祉サービスの利用等 1,026、障がいや病状の理解 38、健康・医療 81、不安の解消・情緒安定 25、保育・教育 253、家族関係・人間関係等 8、家計・経済 77、生活技術 355、就労 54、社会参加・余暇活動 1、権利擁護 24、その他 88)

④会議

○地域自立支援協議会全体会

実施日：平成28年5月24日（火）

場 所：大阪狭山市役所 3階 第1会議室

内 容：①平成27年度相談支援事業所の実績報告

②定例会からの報告

③専門部会より平成27年度の取り組み報告

④平成28年度の取り組み（案）の提案

⑤自立支援協議会の運営体系図（案）について

⑥その他報告

参加者：23人

○地域自立支援協議会定例会

<第1回>

実施日：平成28年4月19日（火）

場 所：市役所 防災対策室

内 容：①専門部会より報告

②平成28年度 自立支援協議会体系図(案)について

③平成28年度の定例会 会議開催日程について

④その他（情報交換）

参加者：15人

<第2回>

実施日：平成28年6月21日（火）

場 所：市役所 第1会議室

内 容：①平成28年度全体会の報告
②専門部会の進捗状況について
③課題検討 全体会からの意見整理
④その他情報提供

参加者：14人

<第3回>

実施日：平成28年8月23日（火）

場 所：市役所 協議会室

内 容：①専門部会からの報告
②課題検討 作業所連絡会と自立支援協議会との連携について
③その他情報提供

参加者：15人

<第4回>

実施日：平成28年10月18日（火）

場 所：市役所 防災対策室

内 容：①専門部会からの報告
②課題検討 地域移行支援計画についての事例検討
③その他情報提供

参加者：15人

<第5回>

実施日：平成28年12月20日（火）

場 所：市役所 第1会議室

内 容：①専門部会からの報告
②課題検討 各部会の進捗状況と課題整理
③その他情報提供

参加者：14人

<第6回>

実施日：平成29年2月21日（火）

場 所：市役所 防災対策室

内 容：①専門部会からの報告
②課題検討 28年度報告と29年度の取り組みについて
③その他情報提供

参加者：20人

○地域自立支援協議会部会・ワーキング

<相談支援部会>

実施日：平成28年 4月28日（木）、 5月20日（金）
7月15日（金）、 8月19日（金）
9月16日（金）、 10月21日（金）
11月18日（金）、 12月16日（金）
平成29年 1月20日（金）、 2月17日（金）

<居宅部会>

実施日：今年度実施なし

<就労ワーキング>

実施日：今年度実施なし

<地域移行部会>

実施日：平成28年 5月31日(火)、6月21日(火)
7月5日(火)、7月11日(月)
8月1日(月)、8月10日(水)
10月3日(月)、11月21日(月)
12月20日(火)

<病院からの地域移行を考えるワーキング>

実施日：平成28年 9月5日(月)、11月7日(月)
12月5日(月)
平成29年 1月30日(月)、3月6日(月)

<障害児通所部会>

実施日：平成28年 5月31日(火)、7月12日(火)
10月28日(金)、11月15日(火)
平成29年 1月24日(火)、3月14日(火)

<就労支援部会 南河内南就業・生活支援ネットワーク>

実施日：平成28年 6月10日(金)、8月10日(水)
10月19日(水)、12月14日(水)
平成29年 2月7日(火)

<地域移行推進部会 南河内南地域移行推進会議>

実施日：平成29年 3月22日(水)

⑤研修会

<全体研修会>

実施日：平成28年11月18日(金)

場 所：大阪狭山市老人福祉センター さやま荘 大広間

内 容：「発達障がい基礎研修」

講 師：大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

臨床発達心理士 岡 あゆみ 氏

精神保健福祉士・社会福祉士 柳屋 美香 氏

参加者：27人

<相談支援部会研修会>

実施日：平成28年12月16日(金)

場 所：大阪狭山市役所南館 基幹相談支援センター 会議室

内 容：「アンケートからの課題抽出と整理」

講 師：大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

臨床発達心理士 岡 あゆみ 氏

精神保健福祉士・社会福祉士 柳屋 美香 氏

参加者：6人

<障害児通所部会>

実施日：平成28年11月15日（火）

場 所：大阪狭山市役所 別館 第3会議室

内 容：「知ってますか？発達検査って？」

講 師：こども発達支援センターSun

管理者兼児童発達支援管理責任者 紀平 亜希氏

参加者：28人

○指定特定相談支援事業

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規契約者数	4	2	2	0	0	1
利用(計画作成)	16	9	11	8	9	4
継続(モニタリング)	4	1	19	12	13	15

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	10
利用(計画作成)	10	6	2	10	5	6	96
継続(モニタリング)	5	11	12	6	9	8	115

※(前年度) 新規契約22件、利用(計画作成)83件、継続(モニタリング)62件

○指定障害児相談支援事業

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規契約者数	5	1	1	1	0	0
利用(計画作成)	21	2	4	2	2	2
継続(モニタリング)	0	1	10	2	0	15

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	9
利用(計画作成)	3	2	2	2	0	1	43
継続(モニタリング)	6	4	7	7	1	0	53

※(前年度) 新規契約25件、利用(計画作成)36件、継続(モニタリング)21件

○指定一般相談支援事業

地域移行支援（単位：件）	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域移行支援利用	0

※前年度実績なし

地域定着支援（単位：件）	
区 分	年計
新規契約者数	0
地域定着支援利用	0

※前年度実績なし

【10】生活サポートセンター事業

生活に困りごとや不安を抱えている方々に対して、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行った。

また、離職により住居を失った方、または失う恐れのある方には、就職に向けた活動を行うことなどを条件に、住宅確保給付金の支給に関する手続きの支援を行なった。

家計相談支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援した。

（1）自立相談支援事業

（単位：件）

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規相談受付件数	16	10	13	14	10	10
プラン作成件数	3	4	4	2	6	2
就労支援対象者数	0	3	3	1	5	1
住居確保給付金利用数	0	0	0	0	1	0

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規相談受付件数	7	14	10	12	10	16	142
プラン作成件数	5	2	1	4	3	4	40
就労支援対象者数	3	0	1	3	1	1	22
住居確保給付金利用数	1	0	0	1	0	0	3

※（前年度）

- ・ 新規相談受付件数 151件
- ・ プラン作成件数 33件
- ・ 就労支援対象者数 23件
- ・ 住居確保給付金利用数 2件

(2) 家計相談支援事業

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
プラン作成件数	1	2	2	2	2	1

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
プラン作成件数	2	2	0	2	2	0	18

※ (前年度) 14件

(3) 支援調整会議

プラン案を共有をしたり、プラン案の適切性を協議し、支援終結時にはプラン（支援）の評価を行った。

また、支援調整会議での協議を通して、支援の質を高めるとともに、地域に不足する社会資源について把握し、社会資源の創出に向けた検討を行った。

(単位：件)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開催回数	1	1	1	1	1	1
案件数 (評価ケース含)	5	5	6	4	6	4
決定・確認数	3	4	3	2	6	2

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開催回数	1	1	1	1	1	1	12
案件数 (評価ケース含)	6	3	2	5	3	4	53
決定・確認数	5	2	1	4	3	4	39

※ (前年度)

- ・ 開催回数 14件
- ・ 案件数 47件
- ・ 決定・確認数 33件

4. その他

【1】地域ふくし協力金（社会福祉協議会会員会費）

社会福祉協議会会員会費を地域ふくし協力金として、地区福祉委員会の協力のもと実施した。市民のみなさまから集められた地域ふくし協力金（社協会員会費）は、貴重な自主財源として地域福祉事業に活用した。

また、組織構成会員は、社会福祉に関する活動を行う団体・機関・事業者等に幅広く参画していただき、その中から社協の議決機関である評議員を選出し、社協の運営に参画してもらっている。

	正会員	賛助会員	特別会員	組織構成会員	計
地 区	5,906人	75人	30人	—	6,011人
	5,906,000円	225,000円	150,000円	—	6,281,000円
その他	43人	15人	5人	14団体	77人(団体)
	43,000円	45,000円	25,000円	70,000円	183,000円
計	5,949人	90人	35人	14団体	6,088人(団体)
	5,949,000円	270,000円	175,000円	70,000円	6,464,000円

※(前年度) 6,246人(団体) 6,624,000円
 (正会員…6,105人 6,105,000円、賛助会員…93人 279,000円、
 特別会員…33人 165,000円、組織構成会員…15団体 75,000円)

【2】善意銀行事業

市民のみなさまから寄せられた寄付金等について、預託者の意思を十分に配慮・尊重し、社会福祉活動等に活用した。

(1) 啓発宣伝

広報「さやま」及び「大阪狭山市社協だより」に掲載

(2) 現金の受け入れ・払い出し

(単位：円)

預託種別	繰越金	受け入れ	払い出し	差引残高
社 会 福 祉	22,807,186	564,255	393,353	22,978,088
老 人 福 祉	3,070,698	0	50,000	3,020,698
身 障 福 祉	2,837,803	0	0	2,837,803
母 子 福 祉	35,252	0	0	35,252
知的障がい福祉	1,182,433	0	0	1,182,433
精神障がい福祉	0	0	0	0
計	29,933,372	564,255	443,353	30,054,274

次年度繰越金 30,054,274円

【3】大阪狭山市福祉基金

(1) 運用状況

(単位：円)

科 目	金 額	説 明
1. 【福祉基金積立金】	【100,300,000】	【福祉基金原資】
2. 収益	【3,380,809】	
①前年度繰越金	3,026,914	前年度よりの繰越金
②受取利息	353,895	28年度期中受取利息
3. 支出	【353,895】	
	353,895	小地域ネットワーク事業 活動費
4. 繰越金(2-3)	3,026,914	次年度繰越金
計(1+4)	103,326,914	

(2) 貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位：円)

借 方	貸 方
預貯金及び国債	
(郵便局)	
・普通預金 412,071	1. 福祉基金積立金 100,300,000
・定期預金 9,459,000	
小計① 9,871,071	2. 次年度繰越金(果実) 3,026,914
(大阪南農協)	
・普通預金 32,349,603	
・定期預金 10,000,000	
小計② 42,349,603	
(りそな銀行)	
・国債 50,000,000	
・普通預金 1,106,240	
小計③ 51,106,240	
計(①+②+③) 103,326,914	計 103,326,914

【4】共同募金運動（赤い羽根共同募金）「大阪狭山地区募金会」

みんなが安心して生活できる「福祉のまちづくり」を、みんなの手でさらに一歩進めるために「じぶんの町を良くするしくみ」をキャッチフレーズ（全国統一）として「共同募金運動（歳末たすけあい募金を含む）」を、10月1日～12月31日（全国一斉）まで展開した。

（1）会 議

- ①役員会
- ②監査
- ③共同募金事務説明会
- ④歳末たすけあい募金配分委員会

（2）一般募金

各市町村の募金活動で集められた寄付金は、一旦大阪府共同募金会に集められ、大阪府内の民間福祉施設、福祉団体や社会福祉協議会が行う事業に配分される。

本市においても、募金額の約60%が次年度に配分され、市内の老人福祉活動や福祉育成・援助活動など地域福祉活動の貴重な財源として活用した。

○実施期間：平成28年10月1日～11月30日

募金種別	戸 別	学 校	街 頭	法 人
金 額	2,191,658円	143,938円	411,109円	374,550円
協力団体数	62地区	14校	160件	171社
募金種別	バ ッ ジ	職 域	その他	計
金 額	74,000円	65,451円	53,341円	3,314,047円
協力団体数	—	4団体	—	

※(前年度) 3,489,557円
 (戸別…2,227,295円(63地区)、学校…184,203円(14校)、
 街頭…520,827円(160件)、法人…381,300円(182社)、
 バッジ…74,500円、職域…70,655円(5団体)、その他…30,777円)

（3）歳末たすけあい募金

募金活動で集まった寄付金は、大阪狭山地区募金会より、市内の地区福祉委員会や福祉施設及び各種団体が行う事業に配分した。

募金額の25%を地区福祉委員会に、75%は市内の福祉施設及び各種団体からの申請を受け付け、歳末たすけあい募金配分委員会の審議・承認の後、配分を行った。

○実施期間：平成28年12月1日～12月31日

募金種別	戸 別	法 人	職域・その他	計
金 額	1,665,189円	164,450円	37,820円	1,867,459円
協力団体数	62地区	139社	5件	

※(前年度) 1,917,405円
 (戸別…1,718,167円(63地区)、法人…170,200円(161社)、
 職域・その他…29,038円(3件))